平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	9	―	66

1　事務事業の表示

※ ■ ： 該当

事務事業名	オホーツクサイクリング事業					
評価者	担当課名		産業振興課	担当係名		商工観光係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	石井弘道		氏名	花松賢一
事業の概要	オホーツク沿岸の市町村等で構成される実行委員会により開催され、当町から斜里町までの212kmを2日間で走破するイベントである。 当町では出発前日に行われる前夜祭においては、官民一体となった「おもてなしの心」でサイクリストを歓迎する事業を実施している。			全体計画 ／単年度繰返 （平成 20 年度～ 24 年度）		
				事業費	国・道支出	千円
					地方債	千円
					その他	千円
					一般財源	14,500 千円
					事業費計	14,500 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他（　　）	
第５期総合計画（前期）	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～			
	基本施策	5	観光の振興			
	単位施策	3	おもてなし力の強化			
	事務事業の種類	■	自治事務		法定受託事務	
	その他計画・根拠等					

事業費	実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	2 千円	955 千円	3 千円	3 千円	千円
	雄武町負担額（一般財源）	2,748 千円	2,423 千円	2,823 千円	2,828 千円	2,900 千円
	合計	2,750 千円	3,378 千円	2,826 千円	2,831 千円	2,900 千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	サイクリスト	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	23年度で30回の記念大会を数え、新鮮味が薄れており、参加費の軽減も検討事項である。	参加者数		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	オホーツクライン、とりわけ出発地点である当町の観光PRの効果は大きいと考え、本事業の継続実施を図る。	① 実施回数	目標年度	平成23年度
			目標値	1 回
			実績値	1 回
			達成度	100.0 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果＝目的	開催当初レベルの参加者の確保、雄武町のPR	② 参加者数	目標年度	平成23年度
			目標値	1500 人
			実績値	1155 人
			達成度	77.0 %

内容（どのような手段で何を行ったか）	
実行委員会への負担金支出	オホーツクサイクリング実行委員会への負担金支出
前夜祭実行委員会への補助	オホーツクサイクリング前夜祭実行委員会への補助金交付

3　事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	町民の間でも参加者へのもてなしの意識が定着しており、町民の理解を得ているものと判断する。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 ■達成 □ほぼ達成 □下回る	本事業の実施による広告媒体や、道内外からの参加者を通じた雄武町のPR効果は大きく、費用対効果の面からも有効と判断する。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 □時間短縮・作業軽減 □その他	近年参加者は減少傾向にあり、運営面において課題があるものの、発注品単価の抑制等を実施しており、効率的と判断する。ただし、参加料の軽減等を含め、今後の継続実施に向けた総括的な検証が必要である。

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 ■受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る □その他	当町からの参加者は毎年30人程度だが、町を挙げての一大イベントとして定着しており、町民の理解を得られているものと判断する。

4　総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A		
新たな取り組みとして、日帰りコースを設置し、参加者は増加傾向にあり、212kmkースはリピーターが多く根強い支持を得ている。町民にも定着しており、開催について理解を得られ		

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持		
これまで実施できた背景には参加者のニーズが高いことが挙げられる。今後の継続実施に向けた総括的な検証を行った上で、継続実施する必要がある。		

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5　その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）